

全国最大の工務店ネットワーク

ジャーブネットが住宅デザイン原則を開発

資産価値の高いデザイン住宅を適正価格で

全国最大の工務店ネットワーク「ジャーブネット」では、地域工務店では前例がない住宅デザイン原則を開発し、会員工務店で運用を開始しました。これにより地域工務店の課題とされていたデザイン力が飛躍的に向上し、高額な住宅でなくても美しく資産価値の高い住宅が提供できるようになり社会資本の充実に貢献できます。

これは住宅に限らず形あるものの美しさには一定の法則性があることに着目し、それを住宅設計の場面で活用できるようコード(原則)化したものです。

デザインコード(原則)のメリット

これからの住宅は社会的な資産にもなる必要があります。良いものを作り大切に後世に残して行くこと、これは日本文化にも合致した本質的な考え方です。ジャーブネットではこれまで地域工務店に実験成果や商品開発手法などを提供してまいりましたが、今回それらに加えてデザインコード(原則)の提供を開始します。消費者にとっては資産価値の高い住宅をより実現しやすくなる上、良質な住宅という社会資本の形成にも貢献できると考えています。



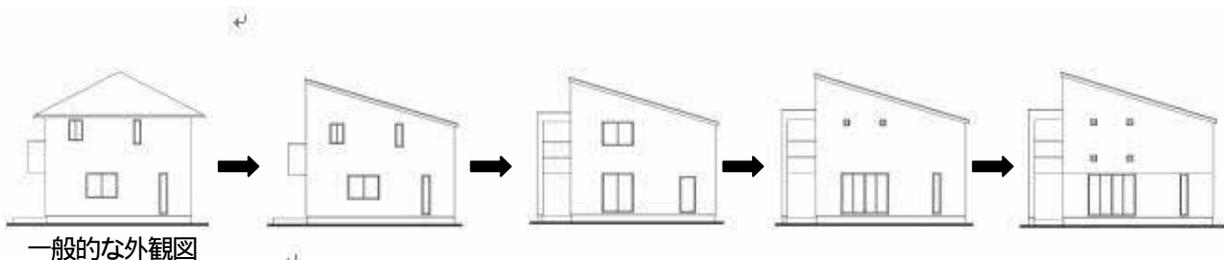
モダンなデザインが特長のNEW キレイ
38坪プラン例 本体価格1,580万円(税込)

デザインコード(原則)とは

自然界にある美しさの法則を「コード(原則)」に分類してパターンを抽出するものです。コード(原則)は勝手な主張ではなく、できるだけ一般の人が普遍的に美しいと感じられるものとしています。それゆえに価値が経年変化せず、住宅といった寿命の長い消費財に適しています。コードの一例を挙げると「反復させる」「対比させる」などがあります。

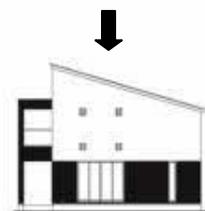
自然界にある普遍的な美しさ

分かりやすい例でいえば「真っ青な空に浮かぶ白い雲」は「対比」の例となり、「静かな水面の波紋」などは「反復」の例です。法隆寺の五重塔などは反復の美しさを建築で表現した代表例ともいえます。



一般的な外観図

左端の図が一般的な設計方法で間取りから外観を立ち上げ4.5寸勾配の寄せ棟屋根をかけた図です。左から2番目以降はデザインコードを用いながら右に進めてデザインしなおしている過程です。今回の家づくりプロジェクトで採用した建物外観(冒頭写真)は右下のものに着色を施して仕上げたものです。



デザインコードを用いた図

デザインコード開発と導入の背景

「リクルート住宅建築に関する意向調査 2005」を参考に「検討施工依頼先（第一希望）別ランキング」で「大手の住宅メーカー」と「地元を中心に展開する工務店」を項目別に比較してみると

- | | | |
|---------------|---------|--------|
| 1) 設計の自由度が高い | メーカー12位 | 工務店1位 |
| 2) 外観のデザインが良い | メーカー5位 | 工務店16位 |
| 3) 低価格 | メーカー45位 | 工務店8位 |
| 4) 会社が信頼できそう | メーカー4位 | 工務店5位 |

という結果になっており、工務店の課題として「外観デザインの向上」は必須であることが分かります。

デザインコードを推進する背景（社会資本と個人資産の充実を目指して）

現在、日本の住宅地には統一感のない「普通に格好悪い家」がたくさん建っていますが、逆になんらかの統一感ある街並みはそれだけで落ち着きや調和を表現することができます。

日本の戸建住宅の約70%は地域の工務店が施工していますから、彼らがデザインコードを使いこなすようになると個人資産としての住宅価値があがるばかりでなく、街並みが最大速度で美しくなっていきます。さらに中古流通率も高まっていけば、これから循環型社会で求められる価値に対応していくことができます。これは新しい「住生活基本法」の精神にも沿うものとなっています。

コストパフォーマンスに優れる

デザイン住宅を建てようとするれば建築家に建築費の5～10%程度のデザイン料を支払う必要がありますし、大手住宅メーカーのデザイン住宅も相当に高額です。

デザインコードの本質はデザインにおける「法則」や「原則」ですので、高価な部材や特殊工法とは原則として無縁です。そのため材料の量や構造の変更を伴わなければデザインコードを用いても無償または最低限で提供することができます。さらに言えばわずかな費用で建物の資産価値を大きく増加させることも出来ます。これは優れた住宅を適正価格で供給するというジャープネットの精神にも適うものです。

外観だけではないデザインコード

住宅のデザインとは格好の良い家をつくることだけではなく「人と暮らしのより良い関係をつくること」だと考えます。たとえば「主婦と家事とのよりよい関係」や「子供と成長のよりよい関係」、「家族と収納のよりよい関係」を作ることなどです。具体的には動線、仕切り、繋がり、間口、配置などをそれぞれかかわりの観点から総合的にデザインすることなどです。

仕組みとしての展開を予定

デザインコードを使いこなすに当たっては、訓練をつむことで技術を高めることが可能です。そのため研修会やデザインコンペを開催して恒常的な技術水準の向上を促進します。さらには一定の水準に達した場合にはドイツのマイスター制度を手本とする何らかの顕彰制度を設ける予定です。

<本件についてのお客様からのお問い合わせ先>

ジャープネット事務局 TEL：048-631-1901

<本件についての報道関係からのお問い合わせ先>

株式会社 アキュラホーム 広報課 堀越・杉田（そまだ）

Email：horikosi@aqura.co.jp TEL：048-631-3020（ダイヤルイン） FAX：048-631-2334

本リリースは「国土交通記者会」、「国土交通省専門紙記者会」にて配布しています。

写真データは下記 URL よりダウンロードすることができます。

URL：http://www.aqura.co.jp/news.html